

緊急避妊薬「ノルレボ®」について

緊急避妊薬は望まない妊娠を防ぐことを目的とした薬剤です。今まで、医療用医薬品としての取り扱いでしたが、2025年の10月20日にあすか製薬株式会社がスイッチOTC医薬品の製造販売取得したことを公表しました。販売日は未定です。



医療用医薬品のノルレボ®の 効能、用法・用量、副作用について

効能・効果：緊急避妊

薬理作用：排卵抑制作用により避妊効果を示す。

用法・用量：性交後72時間以内に1.5mgを1回経口投与する

副作用：消退出血（46.2%）、不正子宮出血（13.8%）、それ以外に頭痛・傾眠・悪心・倦怠感などがみられやすい症状として挙げられる

*消退出血：ノルレボ®服用後にホルモンの作用で子宮内膜が排出されるときにおこる副作用。

*当院ではノルレボ錠の取り扱いはありません。
今後院外薬局で取り扱われる可能性があります。

今回、緊急避妊薬の要史郎医薬品としての製造販売承認されたことで調剤・販売に係る薬剤師の研修及び薬局・店舗販売業の店舗に下記の要件が求められることになりました。

（薬剤師が修了すべき研修）

・公益財団法人日本薬剤師研修センターが実施する「**緊急避妊薬の調剤及び販売に関するe-ラーニング**」の受講を行う。

→研修終了後、調剤・販売を希望する薬剤師は薬局管理者の許可の元、**厚生労働省へ受講終了の旨・その他必要な情報を申告**する。（所属等の変更の際も同様の対応を行う。）





(指針を踏まえ緊急避妊薬を調剤する薬局としての注意点)

- ・緊急避妊薬の備蓄、プライバシーへの十分な配慮、服用するための飲料水の確保等に対応できるような体制整備を行うこと。
- ・調剤・販売に関しては厚生労働省で公表されている薬剤師が行うこと。
- ・近隣の産婦人科医等との連携体制を構築していること。
- ・緊急避妊薬による避妊の成否を確認するため、服用3週間後を目途に産婦人科受診又は妊娠検査薬を実施するように需要者に指導すること。
- ・性犯罪被害等のおそれがある場合は、ワンストップ支援センター等の関係機関を紹介することが望ましい。
- ・性交同意年齢(16歳)未満の者及び短期間で繰り返し購入を行うもの(目安としては3か月に2回以上)については産婦人科や小児科へ受診勧奨を行うとともに、18歳未満の者であって虐待が疑われる場合には児童相談所へ通報を行うこと。



参照: 厚生労働省ホームページ参照